

# 真琴の弦の交換

<用意するもの>

- ①真琴 ②電子チューナー ③調律ハンドル ④チューニングマット
- ⑤弦を切断する丈夫なニッパー ⑥ラジオペンチ（先端が細い物）⑦定規
- ⑧あて木（割りばしでOK!）
- ⑨目的の交換弦 音階表（弦の設計 インチが右に書かれています）

※お手入れ道具 やわらかい布、ほこり払いの筆・刷毛

※あるといい物 → 眼鏡、エプロン、絆創膏、手元の照明、真琴専用ノート  
ピンについたさび落とし（サンドラバー中目・研磨用）

※冬の気温10度以下の場合は暖房で部屋を暖めてから、行いましょう

※保管場所も10℃以下にならない場所、湿気の少ない場所 家の環境で良い場所に保管してください

※電子チューナーお勧め基準設定 ラA=444Hz

## <セッティング>

右利きの方は本体の右側にチューニングピンが来るように置きましょう。

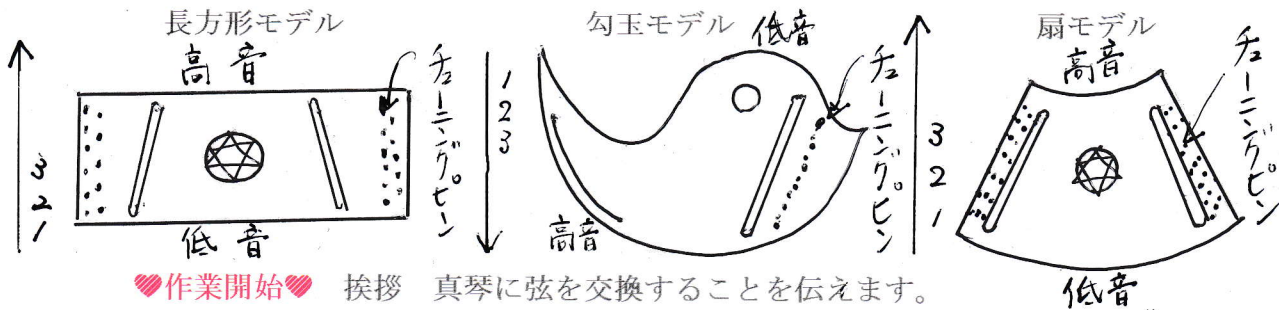
- ” 長方形モデル” と” 扇モデル” は低音弦が手前になります。

低音弦から1, 2と数えます

- ” 勾玉モデル” は 高音弦が手前になります

低音弦から1, 2と数えます

真琴本体の下には、チューニング用ゴムマットを敷きましょう。



♥作業開始♥ 挨拶 真琴に弦を交換することを伝えます。

本体には弦によって張力がかかっています。調律ハンドルでチューニングピンを左回しにしてゆるめてから弦を切断してください

- 1回で全部交換する方法→基準になる音が分かりにくくなりますが、アプリに